



# GLOBAL MAPPING NEWSLETTER

79

## 第22回地球地図国際運営委員会会合

永山 透  
ISCGM 事務局長



平成27年8月4日に、米国ニューヨーク国連本部において、第22回地球地図国際運営委員会 (ISCGM) が開催され、ポール・チュン委員長（シンガポール国立大学、前国連統計部長）の下、各国の地理空間情報当局、国際機関、民間組織の代表約70名が参加しました。

会合冒頭において、シュワインフェスト国連統計部長から、各国 NGIA と協働で地球地図整備を開始してからおよそ20年が経過しつつあることや、ISCGM が今後も UNCE-GGIM と協力関係が継続できれば良いということが述べられました。

また、引き続きポール・チュン委員長から、ISCGM には長い歴史があるが、技術進展に伴って新たな需要が生まれていることから、ISCGM の新たな取り組みが始まっていることが述べられました。

その後、2015年3月に開催された第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」を踏まえて、日本・インドネシア・メキシコ・ノルウェーの地理空間情報当局及び世界銀行による災害リスク低減の取り組みに関する発表

及び、発表者によるパネルディスカッションが行われ、仙台防災枠組への貢献、これを実現するための課題等について議論されました。

また、ESRI・Digital Globe・Leibniz University Hannover から、地球地図に関連する様々なグローバルレベルでのデータ整備について発表され、Ecological Land Unit のプロジェクトの概要や今後の取り組み予定、人工衛星による世界観測と時系列観測や3D地図作成の重要性、前回調査から4半世紀以上経過した世界の地理空間情報当局の地形図目録調査の結果等が説明されました。

ISCGM 事務局からは現在の地球地図プロジェクトの進捗や、昨年会合の決議に基づいて取り組み中であるハザードマップウェブポータル及びカタログサービスサイトの構築状況について報告を行い、今後の充実に向けた活動を確認しました。

なお、発表資料は以下 URL で公開されています。(http://www.iscgm.org/iscgm22)。

## 地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会第 5 回会合

笹川 啓

国土地理院応用地理部環境地理課長補佐 / ISCGM 事務局



ニューヨーク国連本部において、第 5 回地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会会合 (The Fifth Session of the United Nations Committee of Experts on Global Geospatial Information Management: UNCE-GGIM) が開催されました。ISCGM からは、チュン委員長、永山事務局長他が参加しました。本会合には 80 を超える国・地域、国際機関及び民間企業等から合わせて約 290 名の専門家が参加しました。

会合では、地球規模の地理空間情報管理に関する様々な課題について議論が行われました。主な成果としては、災害及び緊急対応における地理空間情報に関する作業部会 (WG) 設置の提案に対し、多数の加盟国から WG への参加表明が出されると共に、その重要性が指摘されました。また、今年 2 月に国連総会で決議された地球規模の測地基準座標系 (Global Geodetic Reference Frame: GGRF) 開発に向けた今後のロードマップ策定に関する議論、8 月 2 日に行われた政府間交渉において全会一致で合意された今後 15 年間の新たな国際目標となる「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」、2015 年以降の防災の具体的な行動指針をまとめた「仙台防災枠組」に対する地理空間情報の貢献に関する議論がされました。その他、統計情報と地理空間情報の統合、地理空間情

報に関する法的及び政策的な枠組み、土地行政と管理における地理空間情報の適用など、多岐にわたる課題が議論されました。

さらに、会合では、2016 年に国連経済社会理事会 (ECOSOC: Economic and Social Council) に提出する UNCE-GGIM のレビュー報告書についての実質的な議論が行われました。会合は、レビュー報告書が地理空間情報分野における ECOSOC の附属機関を強化する唯一の機会を提供することを認めるとともに、2016 年に共通の提案を示す観点から、他の附属機関 (国連地域地図会議 (UNRCC: UN Regional Cartographic Conference) や地理学的名称に関する国連専門家グループ (UNGEGN: UN Group of Experts on Geographic Names)) に対して、今後数ヶ月間一緒に取り組むべく働きかけることを議長団に求めました。

ISCGM は地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会での議論を踏まえつつ、国連関係機関等との連携を強化しながら、地球地図の活動を今後も推進して参ります。

次回の国連専門家委員会第 6 回会合は、来年 8 月に米国ニューヨーク国連本部において開催予定です。

## 災害対応のためのメキシコの協働サイト

ロランド・オカンポ・アルカンタール  
メキシコ国家統計地理情報局 (INEGI) 地理・環境情報副局長



ロランド・オカンポ・  
アルカンタール氏

### 背景

災害が起こった場合、被害を緩和する重要な役割を地理空間情報が担います。最良の災害対応を可能にするため、地理空間情報は、タイムリーであり、入手が容易で、十分な品質を有するべきです。

メキシコでこの情報を確実に入手可能にするために、国家統計・地理情報システムの37団体のひとつである基盤地理情報に関する専門技術委員会の中に作業部会が立ち上げられました。その結果、INEGIが災害対応のための協働サイトの運営を実施して、メキシコ合衆国の異なる機関がより効率的に各自の業務を遂行するための情報交換が可能になりました。

### 運営・構造・内容

本協働サイトは、アクセスに制限がかけられたウェブサイトで、災害関連の地理空間・統計情報の作成に関連する機関から災害対応を直接担当する機関に跨る政府機関の利用者を対象としています。

アクセスを認められた利用者がメインページを開くと、**最近の災害**、**過去の災害**、**入手可能な情報**、**ニュース**、**連絡先**といった欄が表示されます。

### 最近の災害

本欄には、対応が進行中であつたり、最近発生した災害に関する情報が掲載されています。各事象はメインサイトのなかの「サブサイト」とみなすことができます。ダウンロード可能なファイルへのリンク、またはウェブマップサービスのURLにより関連のデータセットへのアクセスが許可されます。例として、被災地と被災物の位置が確認できるよう、被災地域の

町または市の地区レベルでの人口（統計）データ、水系、道路網、それから災害前と災害後のできるだけ早期に行われた衛星画像があります。

複数の利用者がコメント、質問や経験を交換できるよう各事象に関する個別のメッセージボードが作成されます。データを可視化するための欄もあります。

### 過去の災害

過年度に発生した災害や危機的的局面が終わった災害に関連するデータへのアクセスは、この欄に保存されています。この欄の全体的な構成は最近の事象のものと同じです。

### 入手可能な情報

国内では災害がいつでもどこでも起こり得るため、この欄はいくつかの基盤（またはフレームワーク）データセットへの恒久的なアクセスを許可しています。この情報へのアクセスは、ダウンロード可能なリンクまたはウェブサービスへのURL（ウェブマップサービス（WMS）、ウェブフィーチャーサービス（WFS）、ウェブカバレッジサービス（WCS））を通して行われます。これらは人口・統計データ、経済データ（DENUE）、国家道路網、衛星画像や標高データへの直接的で相互運用可能なアクセスを許可しています。

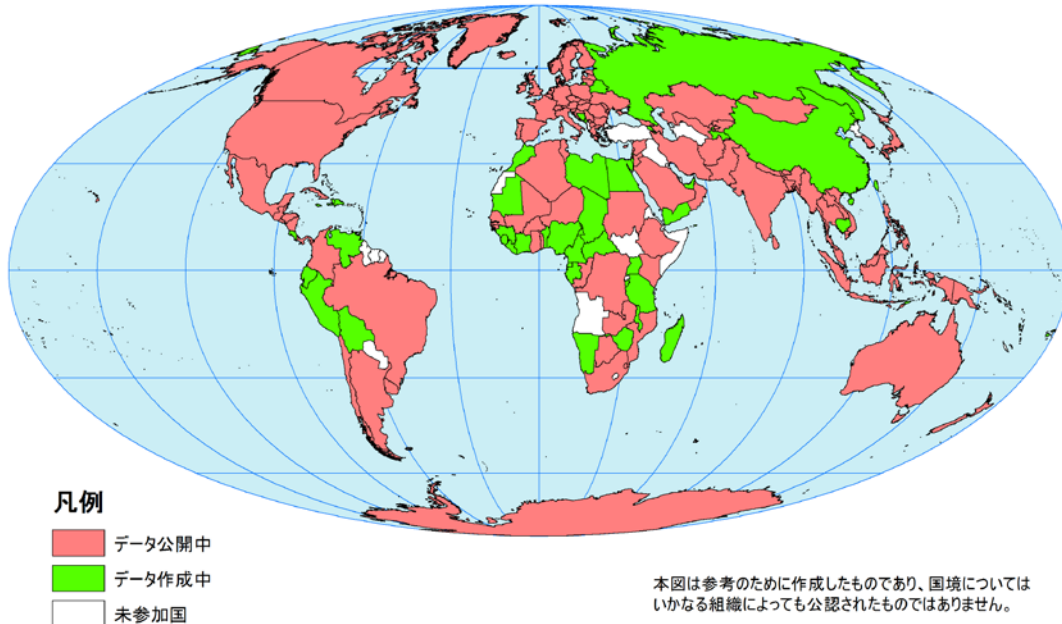
### 今後の見通し

災害対応の協働サイトでは、様々なレベルでのタイムリーな緊急対応の為に必要とされる調整された関連情報へのアクセスを提供している一方で、INEGIや他の政府機関の両方からの複数フォーマットによる入手可能なレイヤ数を増大させる努力が払われています。このサイトは < <http://geoweb.inegi.org.mx/SitioIntercambioDesastres/abrirAreaIntercambio.do> > でアクセス可能です。

## 事務局から

## 地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

現在 167 カ国 /16 地域が地球地図プロジェクトに参加し、111 カ国 /8 地域（うち Ver.2 を公開しているのは 75 カ国 /4 地域）の地球地図が公開されています。



## メール配信等のお知らせ

メール配信・停止ご希望の方は、氏名・住所・メールアドレスを sec@iscgm.org までお知らせください。

## 地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

## 2015 年

- ・ 10 月 5 日～ 9 日、韓国、済州島  
第 20 回国連アジア太平洋地域地図会議  
(UNRCC-AP)
- ・ 10 月 9 日、韓国、済州島  
第 4 回国連地球規模の地理空間情報管理に  
関するアジア太平洋地域委員会総会  
(UN-GGIM-AP)
- ・ 11 月 11 日～ 12 日、メキシコ、メキシコシティ  
第 12 回地球観測に関する政府間会合

## 2016 年

- ・ 5 月 2 日～ 6 日、ニュージーランド、クライストチャーチ  
国際測量者連盟ワーキングウィーク 2016
- ・ 8 月、米国、ニューヨーク  
第 23 回地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 会合
- ・ 8 月、米国、ニューヨーク  
第 6 回地球規模の地理空間情報管理に関する  
国連専門家委員会 (UNCE-GGIM)



NEWSLETTER は地球地図情報誌として、世界中の地理空間情報当局や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。本誌の記事は、原文をそのまま掲載してあります。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-8087

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: [sec@iscgm.org](mailto:sec@iscgm.org)